

【新型コロナウイルス情報】

<環境消毒時、消毒剤の使用は「噴霧」をやめて「清拭」で！>
環境消毒の基本は清拭です。現場対応で徹底しましょう。

・消毒の三要素を示します。

濃度：決められた正しい濃度で使用する。

時間：微生物と必要以上の接触時間を保つ。

温度：効果的な温度(通常 20℃以上)で使用する。

適切な消毒の実施には、この三要素を満たすことが必要となる。従って、アルコールや次亜塩素酸ナトリウム等による環境の噴霧消毒の効果は不確実と言える。さらに、次亜塩素酸ナトリウムの噴霧による塩素ガスの吸入による人体への悪影響も懸念される。

・コロナウイルスの環境消毒は、消毒用エタノール(アルコール濃度 70%以上)、次亜塩素酸ナトリウム(適正使用濃度 500ppm・0.05%)が有効。

・飛沫は時間の経過により水分が蒸発し、飛沫核となり、飛沫核(エアロゾル)感染を生じる可能性もあるため、迅速に消毒することがポイントとなる。

<新型コロナウイルス抗体検査試薬キットについて>

・KURABO(倉敷紡績株式会社)より研究用として発売されている「新型コロナウイルス抗体検査試薬キット」は、イムノクロマト法により血液中の新型コロナウイルスIgM 抗体または IgG 抗体を検出するためのキット。適用サンプルは、約 10 μ リットル(一滴程度)の血清・血漿・全血で、約 15 分で目視判定により検出可能。また、検体が血液であるため、PCR 検査の検体採取時の患者の飛沫に汚染されるリスクは軽減されると思われる。但し、現在、保険適用はなされていない。

【担当理事連絡協議会】

・3月19日午後4時より、第4回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会をテレビ会議にて行った。日本医師会からは「地域の流行状況に応じた医療提供体制の整備について」として、新型コロナウイルス感染症疑い患者の相談支援(〇〇医師会新型コロナ相談外来(仮称)等で設置場所としては休日夜間診療所などの既設の施設などを利用、駐車場などの空き地に設置するなど)の提案、並びに、「濃厚接触による自主的な就業制限、施設の使用制限に関する日本医師会の考え方」を提案し、都道府県から意見を戴いた。

⇒統計資料をご覧になる場合は、下段のリンク先リストに記載の各HPをご確認ください。

【リンク先】 ※厚労省の公式発表ページや日医ホームページなど

厚生労働省：www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

・国内の発生状況：www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokunaihassei

日本医師会：www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009082.html

・医師の皆さんへ：www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009082.html

・国民の皆さんへ：www.med.or.jp/people/info/people_info/009162.html

・通知等：www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009135.html

国立感染症研究所：www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov.html

世界保健機関 (WHO)：www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019

新型コロナウイルス感染症患者の
発生状況(厚生労働省)

<https://mhlw-gis.maps.arcgis.com/apps/opsdashboard/index.html#/c2ac63d9dd05406dab7407b5053d108e>

国内で報告された新型コロナウイルス感染症の患者数を都道府県別に地図上に表示しています。日付は確定日です。
なお、患者数には、チャーター便及びクルーズ船における患者数は含まれていません。